

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。
毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞ楽しみに!

薬剤師の

ちょっと薬に立つお話

今月のTOPICS

点鼻薬の使い方



いよいよ花粉シーズンはピークですね。いま、まさに目鼻がかゆくて大変な方も多いでしょう。今回はくしゃみや鼻水、鼻づまりなど、鼻炎の症状をやわらげてくれる「点鼻薬」について、薬剤師の佐藤久展さんに聞きました。

点鼻薬は患部となる鼻に直接作用するので、飲み薬に比べて早く症状がおさまるといった特徴があります。

点鼻薬の種類 大きく3つに分かれます。

●**血管収縮薬**…鼻づまりの多くは、鼻腔内の血管が拡張し腫れるために起こります。血管収縮薬は即効性がありますが、使いすぎるとかえって鼻づまりが悪化することがあります。長期間の使用には注意が必要です。

●**ステロイド薬**…ステロイドは、炎症を抑える働きがあります。ある程度使い続けて効果を発揮します。

●**抗アレルギー薬**…くしゃみや鼻水などのアレルギー反応を起さにくくします。一定期間使用することで効果が得られます。



正しい使用方法

- 1 鼻をかんで、鼻の中をきれいにする
- 2 手をきれいに洗う
- 3 指示がある場合は上下に振る

4【**滴下タイプ**】
頭を後方に傾け、鼻腔内に滴下します。薬が鼻の奥まで行きわたるよう、そのまま静かに鼻から息を吸います。



【**噴霧タイプ**】
少し下を向いて容器を鼻にまっすぐ入れ、息を吸いながら噴霧します。2~3分そのままの姿勢で鼻の中に薬が行きわたるようにします。



※垂れてきた液は拭き取ってよいですが、すぐに鼻をかまないようにしましょう。
※口の中に入れてきた場合は、うがいなどで軽くゆすぐとよいでしょう。

5 容器の先端をティッシュなどでよく拭き、キャップをしっかりと閉めて保存します。鼻の中に直接入れるため、**細菌汚染に注意**が必要です。開封後は1カ月くらいが使用期限です。

★ワンポイント豆知識★

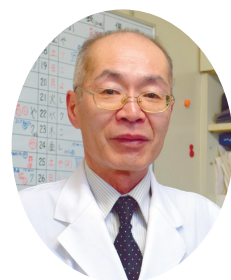
鼻は体内に酸素を取り入れる入口です。フィルターの役割をする鼻毛は、必要以上に切ったり抜いたりするのはよくありません。

点鼻薬は、用法・用量をしっかりと守って使用しましょう。
詳しくは、かかりつけ薬剤師・薬局に相談してください。

特集

病院薬剤師の仕事

薬剤師が活躍する職場は、薬局だけではなくありません。現在病院に勤務する薬剤師の仕事は、外来を中心とした「調剤業務」から、入院患者へのお薬の説明などを中心とした「病棟業務」に変わりつつあります。医薬分業が進む病院での薬剤師の仕事について、薬剤師の沓掛浩一さんに話を聞きました。



入院前カンファレンス



こちらの病院では、入院予定の患者さんに案内(説明)をする際に、薬剤師が同席します。その際、今飲んでる薬の内容を見ながら、入院前の注意点を確認します。

例えば、手術が予定されていれば、術前の数日間は「血液サラサラ」のための薬をストップする場合があります。

※ここでも「おくすり手帳」が役に立ちます。入院の際は必ず持参しましょう。

入院患者の投薬準備



入院病棟の患者さんが毎日飲む薬を分包します。持参してもらった普段飲んでいる薬の中から、前項のようにストップする薬があればひとつひとつ除いて分包し直します。飲みやすいよう毎日朝昼晩に分けてセットし、病棟に戻します。



点滴薬・注射薬の製剤

無埃無菌で調剤・製剤ができる装置(クリーンベンチ)で、注射薬を作ります。ここでは抗がん剤をつくる専用の施設があり、その際、薬剤師は防護服を着用して製剤します。

注射薬も患者さんごとにBOXに入れ、カートで病棟に運びます。



院外処方せんとの問い合わせの対応

95%が「院外」処方せんというこの病院では、地域の薬局から毎日のように問い合わせがきます。電子カルテをネットワークで院内どこでも見ることができるので、迅速な対応ができます。



地域病院間の連携研修

県内の複数の病院が連携し、医師・看護師・薬剤師合同で研修会を実施しています。感染対策・医療安全など病院のさまざまな課題について、それぞれの視点で研究・改善に当たっています。

「医薬分業」はますます進んでおり
病院薬剤師の仕事内容も、大きく変化しています。

はい、お答えします!

Q. 薬を飲むと眠くなるかもしれませんと説明されることがあります。薬の効果として、眠くしなければいけない理由があるのでしょうか?(上田市諏訪形 49歳 男性)

A. 眠くしなければいけない理由は特にありません。薬の種類や体質によっては「副作用」として眠気が生じることがあります。ただし最近では、眠くなりにくい薬も出ています。かかりつけ薬剤師・薬局に相談してみましょう。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先 八ガキ 〒386-0012 上田市中央6-3-41週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp FAX 0268-22-6201